

ボリビア共和国 トラベルインフォメーション

ビザ

観光目的で1回30日以内の滞在の場合ビザは不要で、最大90日までの延長(有料)が可能です。パスポートの残存有効期間はボリビアへの入国時に6ヶ月以上ある必要があります。

言葉

公用語はスペイン語ですが、ケチュア語とマイマラ語も使われています。一般的にホテル、旅行会社、観光地のレストランなどでは英語を話すスタッフがいます。

通貨 カード

ボリビアーノ、補助単位はセンターボ。USドルはホテル、レストラン、お土産物店などで広く使われていますが、日本円は通用しません。ホテルやレストランでは、主だったクレジットカードが利用可能。JCBカードは現時点では利用できません。現地通貨は日本では両替できません。USドルに両替し現地到着時に空港またはホテルで両替してください。

税関

入国時の税関検査は極めて簡便で、荷物の中身をチェックされることも稀です。反面、出国時の検査は極めて厳格で、持ち出し禁止のものを荷物に入れてないかの質問や、機内荷物を預けた後に全旅行者に対するボディチェックが為されます。これはボリビアがコカの産地であるためです。持ち出し禁止品は麻薬類、野生獣毛皮、骨董品、三葉虫等の化石、植民地時代の絵画などです。

シーズン 気候 服装

ボリビアは大別して3つの地域に分けられ、ラパスやポトシなどの高原地帯、コチャバンパなどの渓谷地帯、サンタクルスなどの平地地帯で構成されます。雨季は11月～3月でこのシーズンはほとんど毎日、午後にはスコールがありますが、一日中降り続けることはまずありません。高原地帯は年間平均気温が7度～10度と低く、朝晩の気温差も大きい。また航空機で到着する旅行者の多くが高山病の症状を感じます。渓谷地帯北部は高温多湿の亜熱帯性気候で年間平均気温は18度。平地地帯は国土の約60%を占め、4月～10月は乾季、11月～3月は雨期となり、年間平均気温は23度～28度。寒暖の差が激しいので、日中はTシャツや半袖で過ごせても、夜はセーターなどが必要となります。夕食の際などでもスーツやネクタイは不要ですが、いわゆるスマートカジュアルな服装をご用意ください。

チップ

欧米同様のチップの習慣があり、ホテルのポーターやレストランでの食事に際してはチップが必要です。ホテルポーターは荷物1個につき1USドル、ホテルメイドは1USドルがおおよその目安です。

電圧

電圧は220ボルト(50Hz)でコンセントは丸2穴および平2穴タイプが主流です。アダプターやコンセントは日本より持参することをお勧めします。

飲料水

水道水は飲めません。ミネラルウォーターを購入し飲用とすることをお勧めします。ミネラルウォーターには炭酸ガス入りと、ガスなしのものがありますのでご注意ください。

時差

日本より - 13時間。
サマータイムの適用はありません。

治安

欧米の都市と同程度の治安状況ですが、空港やホテルにおける置き引き被害が多発していますので、ご自分の荷物から目を離す事のないよう、十分にご注意ください。また旅行中は過度な装飾品や高級腕時計の着用は、目をつけられやすいのでお控えください。

=注意事項=

ラパスやスクレの標高は3000メートルを超えるため、高山病の症状が出る場合があります。予防のためには体調管理、高地では走らない、急がないを心掛けることが肝要です。また多めの水分補給と、アルコール摂取や喫煙を控えることも効果的です。